

2009年(平成21年) 4月16日 木曜日

王亮 王求 楽斤 幸反

少しぜいたくな泡盛



15日に発売した「暖流25度古酒ブレンド」を手にする神村盛行社長。15日、那覇市天久の琉球新報社

神村酒造

神村酒造(うるま市、神村盛行社長)は十五日、たる貯蔵のこはく色の古酒「暖流」に一般酒を混合した「暖流25度古酒ブレンド」(古酒割合20%)を発売した。たる酒独自の味わいを反映した、ほのかな香りや甘みの特徴。古酒と新酒の間のような商品と位置付け、「ちょっとぜいたくな泡盛」として「新・暖流」の愛称で売り込む。神村社長によると、たる貯蔵の

泡盛は独特の香りや甘みに根強い人気がある一方、消費者の好き嫌いはつきりしている。今回は、たる貯蔵古酒と新酒を混合することで独自の味わいを生かすつと、多くの消費者が飲みやすい商品とした。

神村社長は「飲みやすさと甘み・こくバランスを重視した」と説明。水割りやオンザロックが勧めという。三十代以上を購買層に想定するが、価格は古酒より低く、七二〇ミリ入りで九百九十八円。問い合わせは同社☎098(964)7628。

香りほのか「新・暖流」発売